

きちんとPDCAを実践しているが、仕事が思ったように進まない方へ



PDCAで仕事がうまく回らない人のための

「OODAループ」活用術



と き 2025年 9月 18日(木) 9:30~16:30

開催形式 会場(中産連ビル 研修室) または オンライン(ZOOM配信)

対象者

●すべてのビジネスパーソン

研修のねらい

1. 変化に対し、計画を逐次軌道修正してスピード感と柔軟性を持ち併せた業務遂行ができるようになる
2. PDCAでは対応が難しい想定(計画)外の事案に対し、適切で効果的な打ち手が講じられるようになる
3. 必要に応じて適宜状況対応できる業務の進め方を取り入れ、PDCAとの相乗効果をねらう

計画(想定)外の出来事が起きた時の仕事術を身につける！

近年、最近OODAループという用語を目にする機会が増えてきました。

OODAループはアメリカ空軍が朝鮮戦争(1950-53)で消耗戦を繰り広げ膠着状態にある中、迅速に意思決定して戦況を有利に進めるために取り入れた戦術です。OはObserve(観察)、OはOrient(仮説構築)、DはDecide(意思決定)、AはAct(行動)を表し、ループ(Loop)させて“様々な観点でアクションを起こしながら、精度や成果をらせん状に高めていく”という意味です。

似て非なる概念に皆さまがご存じのPDCAがあり、最近比較して言及されることが増えています。しかし、日本でOODAループ活用の必要性が叫ばれ始めたのはごく最近(*欧米の先進企業ではすでに常識)のことで、「PDCAでは急な変化に臨機応変に対応できない」、「計画中(P)や実行中(D)に外部環境が変化してしまうと、柔軟でスピード感のある対応ができない…」などを理由に想定(計画)外の出来事が起きた時に最適な状況打開への打ち手と有効な意思決定のためにOODAループが広く使われるようになり始めました。

例えば、

- 経営層から末端社員までの全社員が、今まで前例の踏襲や他社の追従でビジネスを展開してきた…
- 情報収集や分析に時間をかけすぎて迅速な意思決定ができず、好機を逃し続けている…
- できないことへの責任追求、その場合限りの改善といった将来につながらない取組みばかりが横行している…
- 仕事に完璧さを追求しすぎて、仕事全体への適切な時間とエネルギー配分ができていない…
- 過去の成功体験に囚われており、挑戦や失敗することへのリスクを恐れて大半が指示待ちになっている…
- 社内会議や上司向けの資料作成で忙殺され、新しい取組みは後回しどころかほぼ何も進んでいない状態…

このようなことが未だに多くの国内企業で起きており、それが“先進国で最低レベルの生産性”という不名誉な烙印を押されることになっています。

◆ OODAループをPDCAと併用できれば、機動力・状況判断力・軌道修正力が大きく上がる！

まず、日本では“一度決めたことを最後までやり切ることをよし”とする風土を持つ企業が多く、予想していなかった環境の変化に対して、「迅速かつ臨機応変に対応できない」「効果的な打ち手を素早く出せないために機を逃してしまい、その後取り返しがつかなくなる」「誰も自分ゴトとして向き合わず、そのまま放置する」、ということが往々にして起きていますが、もはやこのような思考・行動様式では、企業の存続は大きく危ぶまれます。実際、OODAループを自社に導入して現場で活用している組織では、

- 一人ひとりが自律自走するようになり、組織レベルで機動力と状況判断力(柔軟性)が大きく上がった
- 社員一人ひとりの目線が社内から社外に向くようになり、自ら新しい知識と情報を自主的に収集して意見を発信できるようになった
- 想定外の出来事が起きても、一人ひとりが冷静に対応して軌道修正でき、最終的にはしっかり成果が出せるようになった

ようなことが挙げられます。実際、OODAループはPDCAで仕事がうまく回せない時に有効で、2つを併用することで仕事のスピードと質という“対の目的を一挙両得できる”大変ありがたい仕事術なのです。

また、PDCAとOODAループは不連続不透明な時代の業務遂行において不可分の関係であり、いわば足りない部分を相互補完できる存在です。平時ではPDCAを回し、業務が行き詰まったり、思うように進まなくなった時にはOODAループに切り替えて様々な施策を打った後、平時に戻ったところで再度PDCAを回す、といった状況に応じた使い分けができます。

つまり、OODAループが実務で活用できる力は不連続不透明な時代において仕事を継続的に推進・発展させていく大きな武器になります。本研修でOODAループの活用法を身につけ、混迷の時代においてより確かな安定的な業務遂行にぜひお役立てください。

◆研修プログラム（9:30～16:30）

1. はじめに ～ 不連続で不透明な時代に求められる力

(1) **ワーク** 不連続で不透明な環境にどう対応するのが適切か？①

(2) 不連続で不透明な時代とその事象

(3) **ワーク** 不連続で不透明な時代の特徴とビジネスに与える影響

2. OODAループが注目されるワケ

(1) OODAループとは？(概略)

(2) 解決したい問題とOODAループの使い方

3. 違いでわかるOODAループ ～ PDCA・マニュアルとの比較

(1) 違いでわかるOODAループ ～PDCAとは？マニュアルとは？

(2) **ワーク** 不連続で不透明な環境にどう対応するのが適切か？②

(3) 計画第一・マニュアル第一の課題

4. OODAループ実践の基本

(1) OODAループ実践上の基礎知識

(2) **ワーク** 事象をどうとらえ、OODAループを活用するか？

(3) 事象の2軸でのとらえ方と、その対応の基本

(4) 事象のとらえ方と目的との関係

(5) **ワーク** 不連続で不透明な環境にどう対応するのが適切か？③

(6) 方針の必要性と世界観VSAへのブレイクダウン

5. OODAループの活用が効果的な業務

(1) OODAループ実践事例

(2) **ワーク** OODAループはどんな業務に向いているのか？

(3) OODAループの活用が効果的な業務

6. OODAループを実践活用するポイント

(1) **ワーク** 事例から実践上のポイントを考える

(2) 想定される問題

(3) 解決策検討の方向性 ～問題から課題への転換

7. 総まとめ ～OODAループを導入して、何を実現するのか？

(1) 「決められたことだけをやる」から「考動しながら実践し、成果も抽出する」へ

講師

中産連パートナー講師（ビジネスコンサルタント）

大学卒業後、出版・通信教育会社に教育サービスの事業責任者、サービス共通基盤開発などのメガプロジェクトの責任者を担当。コンサルタントとして独立後、幅広い業務領域での実務経験を通じて培った「OODAループ活用」「クリティカルシンキング」「統計活用」「データ分析」「業務構築」等のノウハウを活かし、意思決定、経営分析、業務分析、業務構築・リエンジニアリングの社員教育など、企業向け支援を中心に活動する傍ら、国立大学法人にてデータサイエンス、教育測定・評価論の講座を担当している。また、国内最大手のビジネススクールの講師、ウェビナーサイトUdemyでも講師を務め、本研修テーマに関連した情報(データ)分析による課題と発見力&仮説構築力のセミナー受講者は20,000人を超えている。アクティブ・ラーニング手法による受講者と双方向で進める研修は、丁寧な説明と実務に直結したケーススタディをうまく併用してくれることで学習意欲が引き出されると好評。

PDCA で仕事がうまく回らない人のための「OODA ループ」活用術（9/18）参加要項／参加申込書

参加費（1名様）

	中産連会員	中産連会員外
セミナー受講のみ	36,300円(消費税込)	41,800円(消費税込)
フォローアップ(事後行動支援)付き★	47,300円(消費税込)	52,800円(消費税込)

申込方法

●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp)
申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。
●FAXでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。
●フォローアップ(事後行動支援)を希望される方は下記申込書の欄に「レ」を入れてください。
※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。

受講までの流れ

<会場受講の場合>
受講票と請求書を開催日の約2～3週間前に申込責任者宛へ郵送します。
<オンライン受講の場合>
①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスコード」をメールにてご案内します。
②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。
【オンライン受講の注意事項】
・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。
・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。
・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外の使用はお断りします。
・研修の撮影・録音は固くお断りします。

キャンセルについて

お客様の都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。
・会 場 受 講 の 場 合 ： 開催日の前日（土日祝日を除く）・当日・・・・・・受講料の100%
・オンライン受講の場合 ： テキスト発送後（開催日の約1週間前）・・・・・・受講料の100%
※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。

申込み・問合せ先

一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川
〒461-8580 名古屋市東区白壁3-12-13 TEL：052-931-9824 e-mail：kohashikawa@chusanren.or.jp

会社名

〒

所在地

TEL

FAX

参加形態	フォローアップ (事後行動支援) を希望(✓)	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス
☐ 会場 ☐ オンライン				
☐ 会場 ☐ オンライン				

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)に おいてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。 同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記にレ点のご記 入をお願い致します。 ☐ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない
		百万円	人	
中部産業連盟会員(○印をお付けください)		会員	会員外	

一般社団法人 中部産業連盟

中産連

FAX 0120-342-340

マネジメント研修事業部 小橋川 行